

第6学年 社会科学学習指導案

研究テーマ

児童自らが問いを持ち、追求し、根拠をもとに説明・議論しながら考えを深める授業

単元を通して育成したい子どもの姿

自ら問いを持ち、主体的に調べ、考えたことを自信を持って表現できる児童

1 単元名 戦国の世から天下統一へ

2 単元の目標

- (1) 世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などについて、遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、必要な情報を集め、読み取り、キリスト教の伝来、織田・豊臣の天下統一について理解できる。 [知識及び技能]
- (2) 世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、問いを見だし、キリスト教の伝来、織田・豊臣の天下統一について考え表現している。 [思考力、判断力、表現力等]
- (3) キリスト教の伝来、織田・豊臣の天下統一などについて、予想や学習計画を立て、学習を振り返ったり見直したりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。 [学びに向かう力、人間性等]

3 単元について

「キリスト教の伝来、織田・豊臣の天下統一」は、織田信長や豊臣秀吉はどうやって天下統一をしていたのか、経過やそこまでの工夫などについて、児童自ら「問い」や「仮説」を立てたり、それらを解決するために調べたりする学習過程を構成しやすい教材と考えられる。

児童はこれまで、自分が興味を持ったものについて調べ、それを新聞等にまとめる学習を経験している。しかし、友達と対話したり協力したりして、考えを広げたり、深めたりする力を高める機会は少なく、児童自身も社会科では話し合いが少ないと感じている。本単元の学習を通して、全員に共通する単元を貫く「問い」を立て、解決を目指して調べ、説明したり質問したりすることで、社会科でも考えが深まるよさを実感させたい。

そこで、本単元では、以下の点を考慮して、児童自ら「問い」をつくり、調べ、議論しながら、学びを深める授業の実現を目指したい。

- 第一次では、「問い」を作りやすくするために、まず二人の武将の人物像が分かる簡単なエピソードを紹介する。そして、二人の武将はなぜ強かったのか、どのようにライバル達と戦ったのか、天下統一のために何をしたのかなど、興味を持たせ、全員に共通する単元を貫く「問い」と個人の「問い」を設定する。
- 第二次では、「問い」を解決するために、教科書や資料集、インターネット等を使い調べ学習を行う。似た個人の「問い」を持つ児童同士で交流させたり、二人の武将の行いを比較させたりする。その中で「どちらが天下統一に向けて働きが大きかったか」という本単元の核となる課題を投げかけ、さらに主体的に調べ学習に取り組めるようにする。
- 第三次では、調べたことをもとに「どちらが天下統一に向けて働きが大きかったか」について、説明したり、質問したりと、議論できるようにしていきたい。

4 単元計画（全6時間）

次	時	・学習活動(目指す子どもの姿)	※評価規準
1	1	・二人の武将の活躍から、学習課題を作り、計画を立てる。	※二人の武将により戦国の世が統一されたことについて、予想や学習計画を立てようとしている。[学びに向かう力、人間性等]
2	2 3 4 5	・戦国時代、日本と外国にはどのようなかわりがあったのか、疑問を持ち、キリスト教の伝来についてまとめる。 ・織田・豊臣がどのようにして天下統一を進めたのか調べ、政策などを表にまとめる。	※世の中の様子、二人の武将の働きなどについて、遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、必要な情報を集め、読み取り、戦国の世の様子を理解している。[知識・理解] ※調べ学習を通して、織田・豊臣を比べてどちらが功績が大きかったか考えている。 [思考・判断・表現等] ※学習問題を追究し、解決しようとしている。 [学びに向かう力、人間性等]
3	6	・調べた内容をもとに、どちらが天下統一に向けて働きが大きかったか話し合う。	※二人の武将の働きを比較し、戦国の世が統一されていくまでの様子について、どちらの功績が大きかったか考え表現している。 [思考・判断・表現等]

5 本時の研究の視点

【視点1】単元を通じた学習課題の設定

- 前時まで調べた二人の武将の政策などをもとに、どちらがより天下統一に向けて働きが大きかったか(活躍したか)という二項対立型の課題により自分の立ち位置を明確にし、根拠を持って説明、議論できるようにする。

【視点2】考えを深めるための表現する場の設定

- 多様な考えに触れ、考えを深められるように、ワールドカフェを行う。
- 話し合い後に自分の考えをまとめる時間を確保し、他者や自分の考えと対話し、考えを深められるようにする。

【視点3】表現のよさに気付く振り返り

- 話し合いをしてみてどうだったか、話し合いで新たに分かったことは何かといった振り返りの視点を持たせて、社会日記を書く。

6 本時で働かせる見方・考え方

- 事象や人々の相互関係・時間の推移などに着目する。
- 社会的事象を比較・分類したり総合したりする。

7 本時のねらい

二人の武将の働きについて、自分の考えを根拠をもとに説明し、議論を通し、自分の考えを深めることができる。

8 学習過程 (6/6)

学習内容・活動	時間	◇教師の支援 ※評価
1 学習課題と学習してきたことを振り返り、本時のめあてを確認する。 織田と豊臣、どちらが天下統一に向けての働きが大きかったかな？	10	◇ 議論に向けて、考えの根拠となるように調べたことを広く浅く振り返る。 ◇ 信長か秀吉かの二項対立型の課題にし、自分の考えを持ちやすくする。(視点1)
2 どちらが功績が大きかったか、ワールドカフェを行う。 ・二人の武将の調べた業績を伝え合う。 ・どちらが優れているのか話し合う。 ・もし、どちらかがいなかったらどうなっていたのか考える。	20	◇ 多様な考えに触れ、考えを深められるように、ワールドカフェを行う。その際、調べた情報を説明するだけでなく、質問をしたり、感想を述べたりすることをおさえる。(視点2) ※ 二人の武将の働きについて、自分の考えを根拠をもとに説明し、議論を通し、自分の考えを深めることができる。(発言) ◇ 話し合い後に自分の考えをまとめる時間を確保し、他者や自分の考えと対話し、考えを深められるようにする。(視点2)
3 本時のまとめをし、学習を振り返る。 (1) 自分の言葉で本時のまとめをする。 ・二人を比べると、秀吉は信長の後を継いだおかげで天下統一できたと思うので、信長の功績が大きい。 ・下剋上を起こさせないようにしたり、結果として天下統一を成しとげたりしたことを考えると秀吉の方が働きが大きかったと思う。 ・それぞれが戦国の世を終わらせるのに、大きな役割を果たした。	15	◇ 自分の力でまとめることができるよう、一人一人の気付きを発表し、全体で共有しながら、全体でも児童の言葉で本時のまとめをする。 ※ 二人の武将の働きについて、自分の考えを根拠をもとに説明し、自分の考えを深めることができる。(ノート)
(2) 本時の学習を振り返る。 ・議論を通して、どちらが欠けても天下統一はできなかったのではと思った。 ・〇さんの考えを聞き、信長のすごさが分かった。 ・〇〇さんは根拠も述べていて、すごいと思った。		◇ 誰の考えがよかったのか、話し合いをしてみてどうだったか、話し合いで新たに分かったことは何かなど、振り返りの視点を持たせる。(視点3)

